

事業評価票

2	特殊詐欺対策 (青少年・治安対策本部総合対策部／一般会計)	事業開始	平成 17 年度
		事業終了予定	平成 - 年度

【局評価】

1 どのような経緯で事業を始めたか、何を指すのか	
<p>○ 地域、行政、警察等の関係機関の取組により、刑法犯の認知件数は大幅に減少してきたが、高齢者や女性、子供等の弱者が被害者となる犯罪が多発している。</p> <p>特に振り込み詐欺をはじめとした特殊詐欺は、平成25年度には被害総額が過去最高を記録し、都民の不安感を高める一因となっている。</p> <p>○ 誰もが安全安心を実感して暮らせる社会の実現には、特殊詐欺対策が喫緊の課題であり、特殊詐欺の根絶に向けた取組を実施していく。</p>	
根拠法令等	東京都安全安心まちづくり条例

2 どのように取り組み、どのような成果があったか																		
<p>○ 警視庁や金融機関等、官民を挙げた「振り込み詐欺官民緊急対策会議」を通じ、ATM利用限度額の引き下げ勧奨を実施する等の諸対策を推進した結果、平成21年中の被害は、件数、被害額とも前年の約3分の1に減少した。</p> <p>○ 手口の巧妙化や被害者1人当たりの被害額の増加により、25年には過去最悪の約88億円の被害額を記録したが、実演式防犯講話の実施や各種広報啓発により26年の認知件数、被害額は減少した。</p>																		
<table border="1" style="margin: 10px auto;"> <caption>認知件数(件)と被害総額(百万円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>認知件数(件)</th> <th>被害総額(百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>3,205</td> <td>1,771</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>4,732</td> <td>1,696</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>2,274</td> <td>8,119</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2,616</td> <td>8,769</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2,311</td> <td>8,001</td> </tr> </tbody> </table>	年度	認知件数(件)	被害総額(百万円)	H22	3,205	1,771	H23	4,732	1,696	H24	2,274	8,119	H25	2,616	8,769	H26	2,311	8,001
年度	認知件数(件)	被害総額(百万円)																
H22	3,205	1,771																
H23	4,732	1,696																
H24	2,274	8,119																
H25	2,616	8,769																
H26	2,311	8,001																

3 どのような課題や問題点があったか
<p>○ 振り込み詐欺の犯行グループの手口は一段と悪質巧妙化し、都内における特殊詐欺被害は依然として高止まり状態であることから、今後も継続的、効果的な対策を実施する必要がある。</p> <p>○ 特殊詐欺根絶には、区市町村による主体的な取組が不可欠であり、地域力を強化し根絶に向けた気運を醸成する必要がある。</p> <p>○ 今年度は緊急対策として都で自動通話録音機を購入し、区市町村や警視庁を通じて都民に無償貸与したところ、都民からの要望が多く、継続的な設置促進が必要である。</p>

4 局として、事業をどうしていきたいか															
<table border="1"> <tr> <td>拡大・充実</td> <td style="border: 2px solid black;">見直し・再構築</td> <td>移管・終了</td> <td>その他</td> </tr> </table>	拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他											
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他												
<p>○ 区市町村による自動通話録音機設置への主体的な取組を本格的に普及させていくため、都による直接購入は終了とし、区市町村に対する購入費補助事業を新たに実施する。</p> <p>○ 併せて、最新の犯行手口や具体的防止策等を被害者層である高齢者だけでなく子・孫世代にまで周知するため、実演式防犯講話の更なる拡充や、区市町村と連携した広報啓発活動を実施することなどにより、特殊詐欺根絶に向けた更なる対策強化を推進する。</p>															
歳入	<table border="1"> <tr> <td>26年度決算額</td> <td>— 千円</td> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>— 千円</td> </tr> <tr> <td>28年度見積額</td> <td>— 千円</td> </tr> </table>	26年度決算額	— 千円	27年度予算額	— 千円	28年度見積額	— 千円	歳出	<table border="1"> <tr> <td>26年度決算額</td> <td>10,517 千円</td> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>111,756 千円</td> </tr> <tr> <td>28年度見積額</td> <td>93,929 千円</td> </tr> </table>	26年度決算額	10,517 千円	27年度予算額	111,756 千円	28年度見積額	93,929 千円
26年度決算額	— 千円														
27年度予算額	— 千円														
28年度見積額	— 千円														
26年度決算額	10,517 千円														
27年度予算額	111,756 千円														
28年度見積額	93,929 千円														

【財務局評価】

5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか
<p>○ 特殊詐欺被害が未だ高い水準で推移している中で、引き続き被害防止に向けた施策の推進が必要である。</p> <p>○ 自動通話録音機の設置については、直接購入から区市町村への補助事業に切り替えることで、更なる普及の拡大と経費縮減を図ることが可能である。</p>

6 28年度予算で、どのように対応したか				
<table border="1"> <tr> <td>拡大・充実</td> <td style="border: 2px solid black;">見直し・再構築</td> <td>移管・終了</td> <td>その他</td> </tr> </table>	拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他	
○ 事業内容及び経費を精査した上で、所要額を計上する。				
歳入	28年度予算額	— 千円		
歳出	28年度予算額	80,105 千円		